

# アメリカ発! 市民のなかに吹く風

## ～ THE WIND OF AMERICA ～



経路地となったヒューストンの空港では、天候不良により5時間以上の滞留を余儀なくされてしまった

### アメリカの風を感じて～

最高の出会いと学びを目指して、東災ボ米国研修ツアーいよいよスタート!

日本から約15時間の空の旅。

総勢16名の仲間たちは、最初の目的地であるニューオリンズの地に降り立ちました。これから始まる10日間、一体どんな出会いと学びが待っているのか!?

それでは、記念すべき第1日目の様子をお伝えします!

### 〇いきなりのハプニング! 飛行機が飛ばない!?

ツアーは初日からハプニングでスタートしました。日本から11時間半のフライトで経由地ヒューストンに到着。窓の外は土砂ぶりの雨。ニューオリンズ行きへの乗り継ぎ時間はわずか2時間しかないのに、入国審査は大混雑の大行列でした。待てども待てどもなかなか列はすすみません。このままじゃ間に合わない! 焦りに焦ってどうにか乗り継ぎの搭乗ゲートにたどり着くと、なんと「出発遅延」の掲示。どうやら悪天候のため出発が見合わされた模様…。

ホッとしたのもつかの間、その後が出発時刻は次々に延期が繰り返され、気づけば予定時刻から3時間以上が経過。まさかこのまま欠航か?今

日中にはニューオリンズにはたどり着けない?!

皆が最悪の事態も覚悟し始めた19時過ぎ、どうにか搭乗がはじまり無事飛行機はヒューストンを飛び立ちました。この遅れで、予定されていたニューオリンズ日本国総領事との夕食会は無念のキャンセル。みんな本当に楽しみにしていただけに、残念のひとつことでした。

### 〇ニューオリンズに到着!

#### バスから見た「カトリーナのまち」

そんなこんなで現地時間の20時半ようやくニューオリンズに到着。空港から市街まではバスで約2～30分ほどです。今回のコーディネーター・青山教授からスケジュールや訪問団体についての簡単なレクチャーを受けながらホテルに向かいました。20分ほど走ったところ、我々の目の前に突然浮かび上がった巨大なシルエット。収容人数数万人を誇るニューオリンズの顔・アストロドームです。カトリーナの際はここが多くの被災者の避難場所となりました。「カトリーナのまちにやってきたんだ」そんなことを実感した瞬間でした。

### 〇明日から、全力でがんばろう!

9時過ぎにホテルに着いたころには皆ハトハトでした。疲れた体にムチ打って、初日のミーティングを開催。スケジュールの確認、改めての自己紹介などを行いました。

団長・上原さんからは「普段ぜんぜん違う仕事をしている仲間たちが集まって、みんなでいっしょに『感じる』ということが大切だと思う。参加した仲間たちは、それぞれこのツアーに参加するために、いろいろな苦労があったと思う。でも、だからこそ、このメンバーならきっとすばらしい気づきと学びのあるツアーにすることができるはず!」との言葉。参加者一同、これからの10日間を一瞬たりとも無駄にせず、全力で、全身で、アメリカの市民たちのなかに吹く風を感じようという思いを新たにしました。

### ■参加者の声①

成田からヒューストン行きの飛行機に乗りました。ヒューストンに降り立つ際、となりに座っているベトナムの申請用紙を書いてくれと言ってきました。自分自身で精一杯感じましたが、僕としても困っているなら助けてあげたいと思い、彼女の持っているカードを見ながら、税関申請用紙記入するも、日

本人のパスポートと違い途中で断念、彼女はCAや乗客と普通に英語で会話できるにも関わらず書いてある英語が理解できていないようでした。僕は英語で話すことは片言しか言えませんが、彼女は僕を頼ってきました。言うことは理解できて書いてあることは理解できない不自由、書いてあることは理解できて2割、3割しか言うことを理解できない不自由、まだ書いてあることを理解できるだけ良いのかと思いましたが、やはり会話は互いに自分の思いを伝えることが重要。たしかに最終的には筆談でもどうにかありますが、口に出す言葉で相手に伝える力が必要だと感じました。

北島英記

### ■参加者の声②

9/3、私たち16名はアメリカでの新しい風を感じる旅に出発しました。道中、トランジット便の遅れなどにより、坂戸在ニューオリンズ日本国総領事との夕食会がキャンセルとなったことは本当に残念でした。

とは言い、機内冷房にて冷え冷えになった体も、ニューオリンズに無事到着した安堵とともに緩和され、途中バスの中から見たホテルの壁に描かれた楽器をみると、夜ながらジャズの町ニューオリンズに来たことをほんの少し実感しました。東京出発から約丸一日の移動でほんの少し疲れは残っているものの、明日からの新しい出会いを楽しみに、たくさんの気づき、市民の中に吹く風を感じとり、その雰囲気をお伝えできたらと思います。

#### <編集後記>

アメリカツアー初日から、いろいろ大変でした…。やはり、いろいろな組織のいろいろな役割と価値観を持った人が共に活動することは簡単ではありません。しかしながら、その違いが何とも新鮮な気がします。この違和感ともいえる「違い」が今回のツアーの醍醐味の一つなんだなあと感じています。違いがことさら目立ち、強調される昨今、この「違い=違和感」を感じながら10日間過ごしていく不安と共に、大いなる期待を抱かされるツアーが実現したのは、東災ボのなせる所以だと確信しています。これから、ツアー参加者だけでなく、アメリカ社会とのさまざまな「違い」を感じるようになることは想像に難くありませんが、その違いを認め合いながら、それぞれにとって有意義な研修にしたいと思います。